

安全に気をつけよう・・・注
意散漫にならないで！

運転中に携帯電話に気を取ら
れると、障害事故や死亡事故
になることがあります。

最近の統計は、携帯電話の使
用中、衝突をする可能性は
400パーセント増えると示し
ています。



安全に気をつけよう！
運転中に、携帯電話
を使用しない

CALIFORNIA
PUBLIC
UTILITIES
COMMISSION

電話通信サービスや請求書に関する問題解決に援助が必要な場合には、まずご利用の電話会社に連絡してください。問題が解決されない場合には、www.calphoneinfo.comからオンラインで苦情を届け出るか、**1(800) 649-7570**の消費者問題課(Consumer Affairs Branch)または公共サービス詐欺ホットライン(Utility Fraud Hotline)に電話して、苦情を申し出ることができます。



CPUC





危険です。

運転中に携帯電話を使うことは、危険です。

- 運転中にメールを送ることは、血中アルコール濃度(BAC)が.08である時と同じくらい、あなたの反応を遅らせます。これでは、飲酒運転をしているのと同じです。
- メールを送ると、あなたの視線は平均5秒間道路から離れます。これは、時速55マイルならば、フットボール場の長さの距離を走るのに十分な時間です。ほとんどの衝突は3秒以内の反応時間という状況で起こります。

安全に気をつけよう！ 運転中に、携帯電話を使用しない

違法行為です

カリフォルニアの法律では：

- 運転中にメールをすることは違法です。
- 運転中に携帯電話で話すことは18歳以下の人々にとって、違法行為となっています。成人は運転中に電話で話すことはできますが、携帯電話を持って話すことは許されません。緊急通話をするのは誰でもできますが、それでもどこか安全な場所へまず車を停めるほうが、賢明です。
- テキストメールを送ったり、ハンズフリー装置無しで携帯使用をすることによる罰金は、最低金額160ドル程度で、その後の違反チケットではさらに増えることがあります。

統計

2008年に、法律と意識プログラムが施行されました。それ以降、事故は減少しています。それでも、運転中に携帯電話を使う人々が存在し続ける為に、多すぎる数の人々が今でも傷ついたり、亡くなったりしています。

2008年から2010年の間に、53人ものカリフォルニアの運転者が携帯電話を手に持っている間に死亡しました。また、不注意運転の主な原因が携帯電話の使用であることから、その他の事故死に関しても、携帯電話が要因である可能性があります。

カリフォルニアの大学生5000人に対して行われた最近の調査では、18%が不注意運転による事故に巻き込まれたことがあると答えています。そのうち、22%はメール使用によるもの、14%が携帯電話での会話によるものです。



不注意による盲目状態

調査によると、携帯電話で話すことは大変危険です。携帯電話で会話中の人々は、注意不足による盲目状態を経験します。これは、会話に集中しているために、脳が目の前にある事柄を見ることができなくなることを指します

こういった統計値に加わらないようにしましょう。他人を思い出の人にはいけません。運転中は、携帯電話を切りましょう。

詳細は、カリフォルニア・ハイウェイ(高速)パトロールとカリフォルニア・オフィス・オブ・トラフィック・セーフティ(交通安全室)のウェブサイトをご覧ください。実際に起きた携帯電話と運転に関わる事件については、<http://www.distraction.gov/content/faces/index.html>をご覧ください。